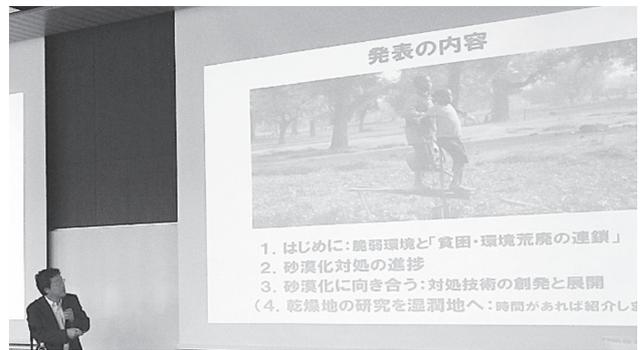


OASIS 27(4) 2018  
〔No.101 March 2018〕

News and Communications of  
The Japanese Association for  
Arid Land Studies

# おあしす



平成 29 年 10 月 28 日 筑波大学東京キャンパスで開催された秋季公開シンポジウム「砂漠化と向き合うー研究と実践の融合に向けてー」(次項報告参照:実行委員・森尾貴広)

上段左:大会委員・森尾貴広会員;上段右:総合地球環境学研究所・田中樹客員教授;中段左:NPO 法人市民環境研究所・石田紀郎理事;中段中:鳥取大学乾燥地研究センター・山中典和センター長;中段右:モデレータ・窪田順平会員, 下段左:左から吉川賢会長, 大塚健司アジア経済研究所主任研究員, 山中氏;下段右:全パネラーによるパネルディスカッションの様子

## 2017年日本沙漠学会秋季公開シンポジウム開催報告

2017年10月28日(土)、筑波大学東京キャンパスにて、2017年日本沙漠学会秋季公開シンポジウム「砂漠化と向き合うー研究と実践の融合に向けてー」が約60名の聴衆を集めて開催されました。

第1部では3名の講演者がそれぞれ異なる地域での沙漠化に対する取り組みを紹介しました。総合地球環境学研究所の田中樹客員教授は「西アフリカ半乾燥地の脆弱環境に内在する地域ポテンシャルの発掘と活用」の演題で、誤った「定番技術」による植林ではなく、乾燥地に適合し地域の人びととの親和性の高い植林を行うことを提案し、有望な例として、インドおよびブルキナファソの在来技術を紹介しました。また、乾燥地の研究成果を湿潤地への適用の例としてタンザニアにおける取り組みを紹介しました。

NPO法人・市民環境研究所の石田紀郎理事は「アラル海調査20年と旧湖底植林の報告」の演題で、アラル海の縮小の経緯と課題を示し、旧湖底沙漠への植林事業において、活着率を高めるために様々な植栽法を試みたこと、近年の国際機関による支援と展望を紹介しました。

最後に、鳥取大学乾燥地研究センターの山中典和センター長が「中国における乾燥地緑化の現状と課題」の演題で、中国の沙漠化、特に風食と水食への対策としての緑化の様々な取り組みを紹介する一方で、急速な造林地の増加による地域の水循環や生態系への影響の懸念を指摘し、その土地が持つ本来の生態系の復元を目指した持続可能な緑化の重要性を強調しました。

第2部では、窪田順平 総合地球環境学研究所教授をモデレータに、第1部の3名の講演者に加えて、大塚健司 アジア経済研究所主任研究員、吉川賢本会会長をパネラーに迎えて、パネルディスカッションを行いました。大塚主任研究員は「研究と実践」という切り口で第1部の3講演へのコメントを紹介し、アイデアの着想をめぐる「フィールド」との対話、フィールドでの着想や試行錯誤をめぐる「学术界」との対話に関する質問を投げかけると共に、「実践と研究」のギャップを埋めるために、時間的、空間的、社会的次元の3つの次元からどう取り組むべきかについて問題提起しました。各パネラーはそれぞれの経験を基に、実践の学術的評価の難しさ、成果を常に求められる中での長期的視野に立った研究の難しさを指摘すると共に、研究者が実践者の視点を持つ重要性、実践を通じた学びの可能性、研究者と実践者がまず出会い、協働することから始めるべきだとの意見が挙がりました。また、会場からも講演やパネラーの意見に対する質問やコメントが出され、活発な議論がなされました。

(2017年日本沙漠学会秋季シンポジウム実行委員会 森尾貴広)

## 日本沙漠学会 2018 年 第 29 回学術大会プログラム

場所：石巻専修大学

〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

アクセス：<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/access.html>

### 大会概要

期日：2018 年 5 月 26 日（土）～ 5 月 27 日（日）

場所：石巻専修大学

総会・研究発表会：5 号館 3 階 5301 教室

ポスター発表会：5 号館 3 階 学生ホール

公開シンポジウム：5 号館 3 階 5301 教室

理事会：5 号館 3 階 ゼミ教室

### プログラム概況

5 月 26 日（土）		5 月 27 日（日）	
08:30～09:15	受付	10:00～10:45	研究発表会・セッション 3
09:15～09:30	開会式	10:45～11:00	休憩
09:30～10:30	研究発表会・セッション 1	11:00～11:45	研究発表会・セッション 4
10:30～10:45	休憩	11:45～11:55	閉会式
10:45～11:45	研究発表会・セッション 2	12:30～14:30	エクスカージョン
11:45～13:00	昼休み		
13:00～14:00	ポスター発表コアタイム		
14:00～14:45	総会		
15:00～17:10	公開シンポジウム		
18:30～20:30	懇親会		

### 参加費

大会参加費 日本沙漠学会会員：4,000 円  
 学生会員：2,000 円  
 会員以外：6,000 円  
 （事前登録者については予稿集 1 冊含む）

予稿集 1 冊 2,000 円

公開シンポジウム 無料

エクスカージョン 500 円（事前申し込み必要）

\* 大会の会場周辺には飲食店がないため、弁当（600 円）の注文も承ります。エクスカージョンの申し込みとあわせて、大会参加申込用ハガキ（同封）にてお申し込みください。

### 日本沙漠学会 第 29 回学術大会実行委員会

実行委員長：依田清胤（石巻専修大学）

連絡先：〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

石巻専修大学理工学部生物科学科

TEL：0225-22-7713（内線 3147）

E-mail：jaals2018@isenshu-u.ac.jp

懇親会会場：石巻グランドホテル <http://www.grandhotel.bz/index.html>

懇親会費：正会員：6,000 円，学生会員 3,000 円

## 【1日目】口頭発表：2018年5月26日（土）午前 座長：鈴木伸治（東京農業大学）

NO	時刻	題 目（○は発表者）
O-01	09:30～09:45	モンゴル草原におけるバイオリギングを用いた資源選択性分析 ○川田清和 <sup>1</sup> 、高橋健吾 <sup>1</sup> 、Jamsran Undarmaa <sup>2</sup> <sup>1</sup> 筑波大学、 <sup>2</sup> モンゴル生命科学大学
O-02	09:45～10:00	チベット高原における最近の乾燥指数の変化について ○杜 明遠 <sup>1</sup> 、劉 景時 <sup>2</sup> 、米村正一郎 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 農研機構農業環境変動研究センター、 <sup>2</sup> 中国科学院青藏研究所
O-03	10:00～10:15	広域森林火災による2010・2016年の冷夏予測から暑夏への激変 ○真木太一 九州大学名誉教授・日本学術会議連携会員・北海道大学農学研究院研究員
O-04	10:15～10:30	南部アフリカ、ボツワナにおけるヤトロファ・バイオマスエネルギー生産の環境影響評価 ○石本雄大 <sup>1</sup> 、明石欣也 <sup>2</sup> 、上野正実 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 青森公立大学、 <sup>2</sup> 鳥取大学、 <sup>3</sup> 琉球大学
休憩：10:30～10:45		

## 【1日目】口頭発表：2018年5月26日（土）午前 座長：藤巻晴行（鳥取大学）

NO	時刻	題 目（○は発表者）
O-05	10:45～11:00	根による土壤水分の移送現象 ○吉川 賢 <sup>1</sup> 、三木直子 <sup>1</sup> 、松尾奈緒子 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 岡山大学、 <sup>2</sup> 三重大学
O-06	11:00～11:15	完全天水依存条件下での植林樹木の成長（ハードパン破碎植林手法） ○菅沼秀樹 <sup>1</sup> 、宇都木玄 <sup>2</sup> 、江頭靖幸 <sup>3</sup> 、高橋伸英 <sup>4</sup> 、酒井裕司 <sup>5</sup> <sup>1</sup> 川崎市環境総合研究所、 <sup>2</sup> 森林総合研究所、 <sup>3</sup> 東京工科大学工学部、 <sup>4</sup> 信州大学繊維学部、 <sup>5</sup> 工学院大学先進工学部
O-07	11:15～11:30	我が国の黒ボク土畑を対象とした土壌の極端な乾湿の長期変動傾向の検討 ○鈴木伸治、芥川力也、青木将人、渡邊文雄 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科
O-08	11:30～11:45	腐植資材を利用した月面沙漠における宇宙農業 ○矢沢勇樹 <sup>1</sup> 、富川 巽 <sup>1</sup> 、武田 弘 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 千葉工業大学大学院工学研究科、 <sup>2</sup> 東京大学大学院理学系研究科
昼休み：11:45～13:00		

## 【1日目】ポスターセッション：2018年5月26日（土）終日～5月27日（日）午前

ポスターセッション・コアタイム：13:00～14:00

## 【1日目】総会：2018年5月26日（土）午後

総会 14:00～14:45

## 公開シンポジウム「明日に架ける橋～被災地からの情報発信～」：2018年5月26日（土） 15:00～17:10

公開講演会	題 目
15:00～15:05	司会挨拶 依田清胤（石巻専修大学理工学部）
15:05～15:35	海の砂漠に陸の砂漠がもたらすもの 太田尚志（石巻専修大学理工学部）
15:35～16:05	オープンデータを活用した地域活性化の取り組み 益満 環（石巻専修大学経営学部）
16:05～16:35	特殊環境下のヒトの生体応答 山内武巳（石巻専修大学人間学部）
16:35～17:05	“Beyond a droughty summer” ーアフリカ半乾燥地帯に適した極早生ササゲ新品種の導入スキームの紹介ー 石川春樹（IITA ナイジェリア研究員）
17:05～17:10	おわりに 依田清胤（石巻専修大学理工学部）

## 懇親会：2018年5月26日（土）

懇親会： 18:30～	石巻グランドホテル
-------------	-----------

## 【2日目】口頭発表：2018年5月27日（日）午前 座長：石川祐一（秋田県立大学）

NO.	時刻	題 目（○は発表者）
O-09	10:00～10:15	ウガンダにおける簡易式点滴灌漑を用いたトマト栽培のための適正給水量 ○Denis Bwire, 渡邊文雄, 鈴木伸治, 陸 智志 東京農業大学大学院農学研究科農業工学専攻博士前期課程2年
O-10	10:15～10:30	貯水施設使用型ウォーターハーベスティングにおける貯水施設の容量の最適化 ○藤巻晴行 <sup>1</sup> , 猪迫耕二 <sup>1</sup> , 齊藤忠臣 <sup>1</sup> , 北村義信 <sup>1</sup> , 塩沢 昌 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 鳥取大学, <sup>2</sup> 東京大学
O-11	10:30～10:45	節水農業に向けたCPC型太陽熱淡水化装置の開発 ○實野雅太 <sup>1</sup> , 實野孝久 <sup>2</sup> , 佐藤賢二 <sup>3</sup> , 浜部 薫 <sup>4</sup> <sup>1</sup> 東京農業大学, <sup>2</sup> 大阪大学, <sup>3</sup> (株)ヒューテックス, <sup>4</sup> 太陽エネルギー利用推進研究会
休憩：10:45～11:10		

## 【2日目】口頭発表：2018年5月27日（日）午前 座長：石山 俊（国立民族学博物館）

NO.	時刻	題 目（○は発表者）
O-12	11:00～11:15	イラン・ザンデルド下流域における水配分の変更とそれに伴う環境変容および適応 ○西川優花 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程（日本学術振興会特別研究員DC）
O-13	11:15～11:30	モーリタニア国・ヌアクシヨットにおける消費者のCOM購買行動評価 ○丸山優樹 <sup>1</sup> , 入江光輝 <sup>2</sup> , Cherif O. Ahmed <sup>3</sup> , Bouya O. Ahmed <sup>3</sup> , 氏家清和 <sup>4</sup> <sup>1</sup> 筑波大学生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 宮崎大学, <sup>3</sup> ISET, Mauritania, <sup>4</sup> 筑波大学
O-14	11:30～11:45	「復興」から「持続可能性」フェーズへ：カザフスタン領小アラル海地域の社会・経済の現状と将来 ○地田徹朗 <sup>1</sup> , ニコライ・アラディン（Nikolai Aladin） <sup>2</sup> , タルガルバイ・コヌスパエフ（Talgarbai Konysbaev） <sup>3</sup> <sup>1</sup> 名古屋外国語大学, <sup>2</sup> ロシア科学アカデミー動物学研究所, <sup>3</sup> アリファラビー名称カザフ国立大学

## 【2日目】エクスカージョン：2018年5月27日（日）午後

エクスカージョン：12:30～14:30	
(株)デ・リーフデ北上（農林水産省 次世代施設園芸導入加速化支援事業 宮城県拠点）施設見学	
<a href="http://de-liefde.co.jp/">http://de-liefde.co.jp/</a>	

## ポスターセッション：2018年5月26日（土）終日（コアタイム：13:00～14:00）～5月27日（日）午前

NO.	題 目（○は発表者）
P-01	2013年度～2017年度における日系企業のアフリカ進出動向 ○森尾貴広 筑波大学国際室
P-02	ミャンマー中央乾燥地における生計向上と村落開発の研究 ○石山 俊 <sup>1</sup> , 宮崎英寿 <sup>2</sup> , 安田 裕 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 国立民族学博物館, <sup>2</sup> 総合地球環境学研究所, <sup>3</sup> 鳥取大学乾燥地研究センター
P-03	事例研究による内モンゴル家畜経済の階級変化 ○額日登塔娜（エリデンタナ） 大東文化大学大学院アジア地域研究科
P-04	モンゴル国カザフ牧畜民によるフェルト敷物「サルマック」の製作技法 —製作過程からみる現代的文化変容の分析— ○廣田千恵子 千葉大学大学院博士後期課程 / 日本学術振興会 DC2
P-05	モンゴルの耕作放棄地における在来種の播種を用いた草原修復 ○高橋健吾 <sup>1</sup> , Undarmaa Jamsran <sup>2</sup> , Tseden-Ish Narangerel <sup>2</sup> , 川田清和 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 筑波大学, <sup>2</sup> モンゴル生命科学大学
P-06	ジブチ共和国で採種した薬用植物の発芽および初期生育特性 ○橘 隆一 <sup>1</sup> , 南部さつき <sup>1</sup> , 福永健司 <sup>1</sup> , Ali MERITO <sup>2</sup> , Fatouma Mohamed ABDOUL-LATIF <sup>2</sup> , Tabareck Mohamed ISMAEL <sup>3</sup> <sup>1</sup> 東京農業大学地域環境科学部, <sup>2</sup> ジブチ国立調査研究センター医薬研究所, <sup>3</sup> ジブチ共和国農業・水産業・牧畜・海洋資源省

P-07	西豪州塩害・湛水害植林試験区での土壌化学性と樹木成長における評価 ○赤城亮太 <sup>1</sup> 、中里大輔 <sup>1</sup> 、菅沼秀樹 <sup>2</sup> 、加藤 茂 <sup>2</sup> 、小島紀徳 <sup>2</sup> 、酒井裕司 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 工学院大学大学院, <sup>2</sup> 成蹊大学理工学部, <sup>3</sup> 工学院大学先進工学部
P-08	原材料・熱処理温度の異なるバイオチャーの化学的な性質の違いとその施用がコマツナの生育に与える影響 ○若宮 理 <sup>1</sup> 、栗本康司 <sup>2</sup> 、杉本英夫 <sup>3</sup> 、青木雄二 <sup>3</sup> 、早川 敦 <sup>1</sup> 、高橋 正 <sup>1</sup> 、石川祐一 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 秋田県立大学生物資源科学部, <sup>2</sup> 秋田県立大学木材高度加工研究所, <sup>3</sup> 株式会社大林組技術研究所
P-09	海水面温度とのテレコネクションによる、青ナイル源流域夏季降雨量の予測 ○安田 裕, Amhamsry, A.A.T., Fenta, A.A., 河合隆行, 清水克之 鳥取大学乾燥地研究センター
P-10	衛星画像と地図資料の比較によるサハラ・オアシスにおける半世紀の景観変化 ○渡邊三津子 <sup>1</sup> ・石山 俊 <sup>2</sup> ・遠藤 仁 <sup>3</sup> ・縄田浩志 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 奈良女子大学共生科学研究センター／片倉もところ記念沙漠文化財団, <sup>2</sup> 国立民族学博物館, <sup>3</sup> 秋田大学

---

## 本誌同封のはがきを投函してください

---

学術大会に参加される方は、本誌同封のはがきが参加申込になります。事前登録扱いになり、参加費が割引になりますので忘れずに投函してください。

正会員および名誉会員の方は、お手数をおかけいたしますが、出席、欠席にかかわらず必ずご回答ください。ご欠席の場合でも、総会成立のためには委任状が必要となりますので、委任状にご記入のうえ、投函してください。

締め切り：2018年5月13日（日）必着

メールでの提出も可能です。jaals2018@isenshu-u.ac.jp（大会事務局宛）までお送りください。弁当や送迎バスの手配で人数把握を確実にしたいので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 学会記事

### 日本沙漠学会第 133 回理事会 議事録

日時：2018 年 1 月 6 日（土）15:00～17:00

場所：新富区民館（東京都中央区）

出席：吉川 賢（会長）、渡邊文雄、森尾貴広（以上、副会長）、窪田順平、小島紀徳、小長谷有紀、酒井裕司、島田沢彦、鈴木伸治、田島 淳、豊田裕道（以上、理事）、田中 徹、矢沢勇樹（以上、監事）、安部征雄（顧問）、依田清胤（次期大会実行委員長）、橋 隆一、的場泰信、三角誠司、齋藤哲治（以上、オブザーバー）

委任状：高橋新平、中村 徹、渡邊三津子

#### I. 審議事項

1. 学会誌の編集・出版体制について
  - ・28 巻 1 号より編集及び印刷業務の委託先を共立へ移行することが承認された。
2. 30 周年記念事業について
  - ・記念事業推進委員長の矢沢監事より、第 1 回会議の報告があった。
  - ・「30 年の歩み」の編纂、「沙漠の事典」の改訂、レビュー論文の執筆依頼、の 3 つの事業の提案があり、承認された。
  - ・「30 年の歩み」については、回顧だけでなく今後の展望や、DT/ICAL 等の国際学会において本学会が中心的な役割を果たしてきたことを示す必要性について意見が述べられた。
  - ・「沙漠の事典」の改訂に伴うトピックについて意見交換した。委員会での検討を継続する。

#### II. 報告事項

1. 「おあしす」の内容確認
  - ・島田総務担当理事より原稿が提示され、内容の確認を行った。
2. 2017 年秋季シンポジウム（10/28）について
  - ・約 60 名の参加者があり盛況のうちに閉会したことが森尾副会長より報告された。
  - ・収支決算が報告された。
3. 国際会議開催に関する検討委員会より
  - ・渡邊副会長（検討委員長）より国際会員についての会則及び内規の改正案が示された。今後、検討を続ける。

4. 2018 年度第 29 回学術大会（5/26～5/27、石巻専修大学）の進捗
  - ・依田実行委員長より、進捗状況と、次号（27 巻 4 号）の「おあしす」に第二報を掲載することが報告された。
  - ・1/6 に総務委員会及び事務局と事前打ち合わせを行った。
5. 投稿論文審査状況報告
  - ・酒井編集委員長より、アクセプト済み論文 1 報、審査中論文 1 報であることに合わせ、小特集の原稿を依頼している旨、報告された。
6. その他の報告
  - ・島田総務担当理事より、学会 HP の充実化について、「沙漠の事典」の図を HP で掲載することが報告された。
  - ・学会会員数減少への対策検討について、森尾副会長より入退会傾向の報告があった。今後検証を続け、対策の検討を行う。
  - ・DTXIII・ICAL3（3/12～3/16）について、小島理事より HP に詳しい情報が掲載されたこと、現在の参加申込状況などが報告された。
  - ・2017 年度学会賞受賞候補者推薦の進捗について、豊田理事より現在の推薦がまだないことが報告され、告知の継続が呼びかけられた。
  - ・2018 年秋季シンポジウムについて、11 月頃の開催になる予定であることが窪田理事より報告された。

#### III. その他

- ・今後の学術大会・秋季シンポジウムの日程と開催地について検討を続ける。
- ・書評依頼（「子供たちの生きるアフリカ」、清水貴夫・亀井伸孝編）が寄せられている。評者を選定する。
- ・第 134 回理事会および第 31 回評議員会：4 月 14 日（土）、会場は 3 月上旬決定。第 135 回理事会：5 月 26 日（土）、石巻専修大学。第 136 回理事会：7 月 7 日（土）、第 137 回理事会：11 月の秋季シンポジウム（鹿児島大学）に合わせ開催。

\* \* \* \* \* 会 員 動 向 \* \* \* \* \*

●新入会員

正会員

マイヤー 清水 幸子

(ID: 1114, 吉備国際大学大学院連合国際  
研究科)

成尾 和浩 (ID: 1116, NTC インターナショナル株式  
会社)

学生会員

中里 大輔 (ID: 1119, 工学院大学)

●退会会員

正会員

東海林拓郎

山口 雅功

風戸 真理

三谷 一太

~~~~~ 賛助会員・団体会員名簿 ~~~~~

|                     |          |                 |                    |
|---------------------|----------|-----------------|--------------------|
| アースアンドヒューマンコーポレーション | 194-0041 | 町田市玉川学園 8-3-23  | Tel : 042-710-7661 |
| 株式会社ウイジン            | 158-0097 | 世田谷区用賀 2-12-14  | Tel : 03-3700-0531 |
| NTC インターナショナル株式会社   | 164-8721 | 東京都中野区本町 1-32-2 | Tel : 03-5354-3621 |
| 株式会社大林組技術研究所        | 204-8558 | 清瀬市下清戸 4-640    | Tel : 0424-95-1060 |

